

クラスの様子【1月号】

●ひよこ組 今月の目標 生活のリズムを整え、健康に過ごす。

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

先月は、体調を崩し、お休みする子が多くみられました。まだまだ寒く、体調を崩しやすい時季ですので、引き続き健康管理には注意していきたいと思います。12月にお友だちが増え、20名になり、ますますにぎやかになったひよこ組。数人ずつ分かれて、天気の良い日には、六地藏さん方面に散歩に出掛けました。季節外れのタンポポを見つけ、花をつんだり、綿毛を飛ばして楽しみました。自分のつんだ花を、おともだちに見せてあげたり、分けてあげたりと微笑ましい場面もありました。また、日頃の交流とは違い、ホールで、おゆうぎ会の劇を見たり、クリスマス会に参加する機会もありました。ひとりひとり、出来ることも増えてきたので子どもたちの思いに寄り添いながら、これからも無理のないように色々な経験をしていきたいと思います。(伊達)



●りす組(もも) 今月の目標 いろいろな遊びを通して、友達との関わりを楽しむ。

例年に比べ12月でも気温が少し高く、戸外での活動が過ごしやすく園庭や西の広場で遊んだり、散歩に出掛けました。園庭や西の広場では、子ども達が砂場にたくさん集まってアイスやご飯などの好きな食べ物を見立てて作り、“いらっしゃいませ”“アイスいかがですか”“ちょうだい”と遊びの中で楽しそうなやりとりが聞こえてきます。散歩でも“おててつなごう”と友達に声をかけ、手を繋いで同じペースで一緒に歩いたり、立ち止まって空に飛んでいる飛行機に手を振ったり、お茶の実やねこじゃらしなどの自然物を手に取ってみたりと友達と一緒に楽しい、おもしろいと感じられるようになり、子ども達同士のあたたかい関わりが見られるようになり、嬉しく思います。また、自分で出来ることも増え、排泄面ではオムツやズボンの着脱ができるようになってきました。食事面では、手づかみからフォークを使って食事ができるようになり、食べこぼしも少しずつ減ってきました。りすも組で過ごす期間も残り少なくなってきました。一人一人の今ある姿をそばで見守りながら、必要な声かけや援助を大切にしていきたいと思います。(三浦)



●りす組(いちご) 今月の目標 体調に気を付けながら戸外でたくさん身体を動かす。

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。例年に比べてとても暖かく、戸外での活動もしやすい気候となりました。西の広場では山の斜面を登って降りて身体を動かしています。特に降りる時はバランスをとるように慎重になる子、最初はゆっくり降りているのに平らな地面が近付いてくるとスピードを上げる子、登りたくて登るけど一人で降りるのは怖くて保育士と手を繋ぐ子、同じ場所でも楽しみ方や感じ方はそれぞれであることを感じました。上着を着る機会も多くなり、お部屋に戻り、まずは自分で脱いでみるように伝えていきます。友だちの姿を見てやってみようとする子、できなくて泣いてしまう子、自分が出来たら今度は困っているお友だちに駆け寄っていき、袖を持って脱ぎやすいように手伝ってくれる子もいます。その優しい気持ちをいつまでも大切にしてほしいなと思います。これからの季節冷え込みも厳しくなってくると思いますが体調面に気を配りながら元気いっぱい過ごせたらいいなと思います。(谷口)



●赤うさぎ組 今月の目標 寒さに負けず戸外で身体を動かす。色々な年齢の友だちと遊んだり関わりを持つ。

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。初めてのおゆうぎ会では、お家の人と離れてからは、緊張感を分け合うように手を繋ぎ合ったり、涙をこらえたりしながらも舞台上に立ちました。4月から取り組んできた遊びや、歌、やり取りと、子ども達らしい自由な姿を見て頂けたと思います。お家でも「セリフや歌を言った」ということ聞いて嬉しく思いました。すべて自分でやりたいと決めた役です。一人ひとり、それぞれが頑張った赤うさぎらしい劇で、楽しんで当日を迎えられたことが私は1番だと思っています。1月からは、少しずつ大きいクラスの子との関わりを増やしたり、ジャンパーの着脱、フォークの持ち方、食事の姿勢、配膳の仕方など自分のことは自分で出来るように見守りながら、援助していきたいと思います。(澤井)



クラスの様子【1月号】

●白うさぎ組 今月の目標 戸外で身体を動かして遊ぶ・色々な友達と関わって遊ぶ。

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします！ 先日のおゆうぎ会ではいつもと違う雰囲気
に不安そうな顔の子が多かったのですが舞台に出ると練習通り大きな声で台詞を言うてくれていましたね。おゆうぎ
会が終わってからも白うさぎ組でははらぺこあおむしの劇の一場面を遊びの中で再現したり、赤うさぎ組の劇のお
おかみになりきったりしておゆうぎ会の余韻を楽しんでいます。新しい年になりうさぎ組での生活も残すところ三
ヶ月となりました。これから以上児に移行するにあたり秋から取り組んできた衣類の着脱や後始末・スプーンやフ
ォークの持ち方・姿勢の保持などもう一度丁寧に見ていくと共に以上児さんと過ごす時間を増やしていき異年齢で関
わる楽しさを知っていただけたらと思っています。(窪田)



●とちのき組 今月の目標 異年齢でゆったりと過ごす。体調に気をつけ、何か異変があれば言葉で伝えられるようになる。

12月はおゆうぎ会の本番があり、「とちのき病院」では動きを自分たちで考えたり、友だちと一緒に1つのもの
を作りあげることができました。大きな舞台で今まで取り組んできたことを楽しく発表したことで子どもたちは達
成感を感じることができ、自信にも繋がり、また一つ大きく成長したと思います。日々の保育の中では、コーナ
ー遊びで劇のセリフを取り入れて病院ごっこをしたり、手作りの食べ物を使ってレストランごっこを楽しんでい
ます。また、製作コーナーでは散歩で見つけた植物に飾りつけをしてツリーを作ったり、自然物を使った製作も楽しんで
います。これからも異年齢で過ごせる時間を大切に子どもたちの発想や発言をたくさん聞き、楽しく過ごしたいと思
います。これから本格的な寒
さになり、体調を崩しやすい季節です。集まりでは手洗いうがいの方法や、衣服の調節など子どもたちにも伝えていき
予防につとめて、“よく遊び、よく食べ、身体をしっかり休め”健康な身体づくりをしていきたいと思
います。(平塚)



●くぬぎ組 今月の目標 友だちと遊んだり、生活する中で助け合う事の大切さを知る。

新年も明けて、くぬぎ組で過ごすのも残りわずかとなってきました。子どもたちはおゆうぎ会が終わってから以
前よりもぐっと親密になり友だちとの関わりがとて楽しい様子が感じられます。また、トラブルが起きても子
ども達同士で「どうしたん?」「いややったん?」と優しい言葉を掛けてくれたり、「お鼻出とるで拭いたろか?」
「チャックはこうするんやで!」と一人では苦戦していることもお友だちの手を借りて頑張ってみたり、覚えよう
とする姿があります。お友だちの事を気にかけられる優しい気持ちや自分たちで解決しようとする様子にとても心
が温まります。自然と助け合うことが出来る子ども達の姿を大切にしながら、友だちと過ごす事への楽しさ嬉
しさを、喜びを沢山感じて残り少なくなぬぎ組での生活を楽しんでほしいと思います。(平澤)



●さくら組 今月の目標 身体をしっかりと動かして遊ぶ。体調の変化や不調を自分自身で感じ伝えられるようにしていく。

明けましておめでとうございます。

12月13日(金)にはおゆうぎ会へのご協力ありがとうございました。子ども達が一生懸命練習してきた成果を
しっかりとお父さん、お母さんに見て頂くことができました。当日の子ども達の緊張した姿や逆に舞台上で堂々
と発表できる姿、楽しそうな表情、真剣な表情など、普段の子ども達とは異なる様々な姿を見てもらうことが
でき、保護者の皆様から見ても去年のおゆうぎ会での子ども達の姿と比べての変化、成長など様々な事を感じて
もらったのではないかと思います。当日、本番を終えた子ども達の顔は達成感、充実感にあふれており、子ども
達にとても今回の経験はしっかりと自信になっていくのだろうと感じました。このおゆうぎ会の練習や本番
での経験は子ども達同士の関係も変化させ、関わりを深めることにも繋がっていたと思います。今回の経験が
これからの子ども達の友達関係の拡大、一人ひとりの成長、もしくはそのきっかけになってくれるといいな
と思います。さくらぐみ、それぞれの年齢で過ごす時間も残すところあと3ヶ月となりました。これからは今
まで以上に異年齢だから出来ること、それぞれの年齢ごとに取り組んでいくべきことを考えながら一日一日
を大切に生活していきたいと思
います。(安田)

